

第10回 臨床研究デザイン・医学統計 ワークショップ[®] (夏期コース)

『臨床研究デザイン・医学統計ワークショップ』では、臨床研究で使われる医学統計学を勉強したい研究者・医療職を対象に臨床研究計画の立案や統計解析における留意点を解説しています。

今回のワークショップでは、主としてCONSORTと反復測定データの解析手法を解説します。まず、医学論文執筆のガイドンスであるCONSORTを解説し、次に、医学研究でよく収集される反復測定データの解析手法として、主な4つの手法（t検定、共分散分析、反復測定分散分析、混合効果モデル）の長所・短所を解説します。また、統計ソフトウェアを用いたデータ解析演習および、実際の臨床研究の例を用いてのディスカッションを行います。

日時 2018年8月18日(土) 13:00~17:00 (開場12:45~)

会場 慶應義塾大学信濃町キャンパス 予防医学校舎3F 講堂

対象 研究者・医療職の方で、統計ソフト(SPSS)をインストールしたパソコンをご持参頂ける方

定員 30名

受講料 慶應義塾に所属の方：4,320円
医療機関・教育機関・行政機関の方：8,640円
企業の方：10,800円

主催 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター



プログラム (予定)

時間	内容
13:00~13:50	【デザイン】 CONSORTの解説
14:00~15:00	【医学統計-1】 t検定、共分散分析の長所・短所
15:00~15:30	SPSSを用いた演習①
15:40~16:30	【医学統計-2】 反復測定分散分析、混合効果モデルの長所・短所
16:30~17:00	SPSSを用いた演習②

※演習では統計ソフト (SPSS) を使いますので、事前にソフトをインストールしたパソコン持参の上、ご参加ください。

※スケジュールやプログラムは、当日の進行状況により変更される場合がありますので、予めご了承願います。

オーガナイザー

阿部貴行

(横浜市立大学データサイエンス学部・准教授)

中川敦夫

(慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
教育研修部門長・特任講師)

佐藤泰憲

(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室・
准教授/慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
生物統計部門長)

その他ファシリテーター

お申込み

「臨床研究講習会受講管理システム」Webサイトよりお申込み下さい。

URL→ <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>

お申込みサイトは
左のQRコードから



【お問い合わせ】 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修事務局
Mail : keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp 内線 : 61930